

報告事項ケ

企画展「コレクション・マリアージュ：SOMPO美術館×鳥取県立
博物館 東郷青児と前田寛治、ふたつの道」の開催について

企画展「コレクション・マリアージュ：SOMPO美術館×鳥取県立博物館 東
郷青児と前田寛治、ふたつの道」の開催について、別紙のとおり報告します。

令和3年10月20日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

企画展「コレクション・マリアージュ：SOMPO美術館×鳥取県立博物館
東郷青児と前田寛治、ふたつの道」の開催について

令和3年10月20日
博 物 館

東京のSOMPO美術館と鳥取県立博物館の数あるコレクションの中から、近代洋画の名品を中心にセレクトして紹介する、二つのミュージアムの連携による企画展を開催します。

旧称を「東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館」とするSOMPO美術館は、その名のとおり日本を代表する洋画家・東郷青児(とうごう・せいじ 1897年～1978年)の作品約240点を核に、東郷に関係する日本・フランスの画家の作品を多数収蔵しています。鳥取県と損保ジャパンとの包括連携協定に基づく取組として開催する本展では、SOMPO美術館のコレクションから45点の作品と、約390点の前田寛治(まえだ・かんじ 1896年～1930年)作品および前田と関係のあった画家たちの作品を積極的に収集してきた鳥取県立博物館のコレクションから50点ほどの作品を選び、合せて紹介します。東郷と前田ふたりの仕事を際立たせながら、彼らが出会った日本とフランスの画家たちの作品にも焦点を当て、近代日本の洋画家たちが追い求め、築こうとしたものとは何だったのかをあらためて見つめ直します。

<見どころ>

- ・2館が所蔵する東郷青児と前田寛治の代表作を一堂に紹介。
- ・SOMPO美術館からはその他にフランスの画家ゴーギャン、ユトリロなどの優品も紹介。なかでもゴーギャンの作品が当館で展示されるのは、平成21(2009)年に開催した「ベルギー王立美術館コレクション展」以来、12年ぶり。
- ・当館所蔵のフランス絵画として、クールベの裸婦像とヴラマンクの風景画、ジョルジュ・ブラックやジョルジュ・ルオーの版画作品を展示。
- ・当館が本年度購入した長谷川利行(はせかわ・としゆき)作《婦人像(前田寛治夫人像)》を初公開。同作は前田寛治の妻を描いた作品としては、ほぼ唯一のもの。今回は、前田寛治の友人である木下義謙(きのした・よしのり)が描いた前田寛治の肖像画と並べて展示。

1 会 期

令和3年11月20日(土)から12月26日(日)まで(36日間、休館日12月6日(月))

2 会 場

鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

3 主 催

東郷・前田展実行委員会(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)

4 特別協力

SOMPO美術館、損保ジャパン

5 観覧料

一般800円(前売・団体・大学生・70歳以上600円)

(高校生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料)

Seiji & Kanji

東郷青児と 前田寛治 ふたつの道

令和3年度 鳥取県立博物館企画展
コレクション「マリアージュ」
SOMPO美術館×鳥取県立博物館



前田寛治《自画像》1928年頃 油彩・キャンバス
鳥取県立博物館所蔵



東郷青児《自画像》1914年 油彩・板
SOMPO美術館所蔵



前田寛治《西洋婦人像》1925年頃 油彩・キャンバス
鳥取県立博物館所蔵



東郷青児《超現実派の股歩》1929年 油彩・キャンバス
SOMPO美術館所蔵

モダンボーイと哲学者、そして
彼らが出会った日本・フランスの画家たち

2021
11.20 [土] 12.26 [日] 休館日:12月6日(月)

【開館時間】 午前9時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

【会場】 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

【観覧料】 一般:800円(前売・20名以上の団体・大学生・70歳以上:600円)

※次の方々は無料です。◎高校生以下 ◎学校教育活動での引率者
◎障がいのある方、難病患者の方、要介護者等およびその介護者

【主催】 東郷・前田展実行委員会(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)
【特別協力】 SOMPO美術館、損保ジャパン
【協賛】 日本通運 株式会社モリックスジャパン 株式会社吉備総合電設 三和商事株式会社
TIC鳥取県情報センター

Works of Seiji Togo ©Sompo Museum of Art, 20023

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124 TEL.0857-26-8042 FAX.0857-26-8041
<https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/> E-mail: hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

東郷青児と 前田寛治、ふたつの道

Seiji & Kanji

モダンボーイと哲学者、そして
彼らが出会った日本・フランスの画家たち

日本を代表する洋画家である東郷青児(とうごう・せいじ 1897年～1978年 鹿児島市生まれ)と前田寛治(また・かんじ 1896年～1930年 現・鳥取県東伯郡北栄町生まれ)は、ほぼ同時期に日本の地方都市に生まれ、同じように西洋美術に惹かれて画家の道へと進みました。これまでのところ二人のあいだに親交があったことは確認されていませんが、画業の初期には二人とも同時期にパリに留学し、彼の地の様々な美術や文化を吸収します。日本に戻って以降、東郷は二科会で、前田は1930年協会と帝展で自らの絵画を世に問うていきました。同時代のパリの空気を吸った二人ですが、彼らの作風は大きく異なり、モダンボーイと呼ばれた東郷のそれは、装飾的かつ洗練されたモダンな女性像により異国情趣を伝えようとするもの、一方、学者肌の絵画探究者であった前田のそれは、自身の中にある詩的感性と西洋絵画の伝統を踏まえた写実性とを作品の上で融合させようとするものでした。時代を共有しながらも、二人が西洋から受け取ったもの、そしてそれによって培われた絵画論は異なり、画家それぞれの個性に応じて、彼らの芸術は実に多様に花開いたのです。

本展は、東京のSOMPO美術館(旧・東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館)の協力により、約240点の東郷青児作品および東郷に関係する日本・フランスの画家の作品を収蔵する同館のコレクションから45点の作品と、約390点の前田寛治作品と前田の周辺画家の作品を収集してきた鳥取県立博物館のコレクションから50点ほどの作品を選び、それらを織物のように有機的に組み合わせる構成するものです。パリを経由しつつ、大きく異なる作風を築いた東郷と前田。二人の仕事を実際立たせながら、彼らが出会った日本とフランスの画家たちの作品にも焦点を当て、近代日本の洋画家たちが追い求め、築こうとしたものとは何だったのかを、あらためて見つめ直したいと思います。



1. 前田寛治《仰臥裸婦》1925年 油彩・キャンバス 鳥取県立博物館所蔵
2. 佐伯祐三《オーヴェールの教会》1924年 油彩・キャンバス 鳥取県立博物館所蔵
3. 東郷青児《ピエロ》1926年 油彩・キャンバス SOMPO美術館所蔵
4. 藤田嗣治《猫と少女》1951年頃 油彩・キャンバス SOMPO美術館収蔵(損保ジャパンより寄託) ©Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2619
5. ボールゴージェン《アリスカの並木路、アルル》1888年 油彩・キャンバス SOMPO美術館収蔵(損保ジャパンより寄託)
6. ギュスターヴ・クールベ《まどろむ女(習作)》1852年頃 油彩・キャンバス 鳥取県立博物館所蔵

【関連プログラム】

- ギャラリートーク(本展担当学芸員による展示解説)
- ◎日時: 11月20日(土)、12月4日(土)、18日(土)
各日14時～15時
- ◎会場: 本展展示会場(要観覧料)
- ◎定員: なし

- アートシアター「世界のグレートアーティスト／パリの特別美術展」(DVD)より
- (1) 11月27日(土)「モネ／クールベ」
- (2) 12月11日(土)「ピカソ」
- (3) 12月25日(土)「象徴主義／シャガール」
- ◎上映時間: 各日14時～15時 ◎会場: 2階講堂(視聴無料)
- ◎対象: 高校生～一般 ◎定員: 当日先着70名(申込不要)

◆ 次の企画展 ◆ 小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌(レクイエム) 2022年2月11日(金・祝)～3月21日(月・祝)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本展の会期や内容に変更が生じる可能性があります。最新情報は鳥取県立博物館ホームページにてご確認ください。

交通のご案内

- ◎ JR鳥取駅からバスで
- a. 100円バス「くる梨(緑コース)」で「①仁風閣・県立博物館前」下車すぐ
- b. ループ麒麟獅子(土・日・祝日のみ)で「③鳥取城跡」下車すぐ
- c. 砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
- d. 市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎ JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- ◎ 鳥取空港から…鳥取駅行連絡バスで「西町」下車約400m
- ◎ お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分

◎ 当館駐車場40台駐車可能 ※なるべく公共交通機関をご利用ください。

